

林兼産業株式会社

2015年3月期第2四半期 決算説明資料

2014年11月13日

連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計			
		実績	前年増減	当初計画	計画増減
売上高	22,186	22,943	757	23,000	▲56
営業利益	▲12	▲109	▲96	70	▲179
経常利益	▲30	▲133	▲103	30	▲163
四半期純利益	▲46	▲129	▲82	0	▲129

前期との主な変動要因

売上高 食肉加工品の販売数量増および価格改定により増収
豚肉の販売数量増等により増収

営業利益 養魚用飼料の主原料である魚粉価格の高騰により減益

セグメント別の売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計			
		実績	前年増減	当初計画	計画増減
売上高	22,186	22,943	757	23,000	▲57
水産食品事業	1,794	1,744	▲50	2,000	▲256
畜産食品事業	8,776	9,494	717	9,100	394
飼料事業	10,753	10,522	▲230	10,950	▲428
その他の事業	860	1,181	320	950	231
営業利益	▲12	▲109	▲96	70	▲179
水産食品事業	▲84	▲38	45	50	▲88
畜産食品事業	▲104	▲56	48	130	▲186
飼料事業	644	424	▲219	350	74
その他の事業	74	102	27	80	22
消去又は全社	▲543	▲541	1	▲540	▲1

貸借対照表の概要

(単位:百万円)

	2014年3月期末	2015年3月期 第2四半期末	
			増減
流動資産	11,393	12,871	1,477
固定資産	14,762	15,614	852
資産合計	26,155	28,485	2,330
流動負債	14,770	16,563	1,793
固定負債	7,071	7,731	659
負債合計	21,841	24,294	2,452
純資産合計	4,313	4,191	▲122
負債純資産合計	26,155	28,485	2,330

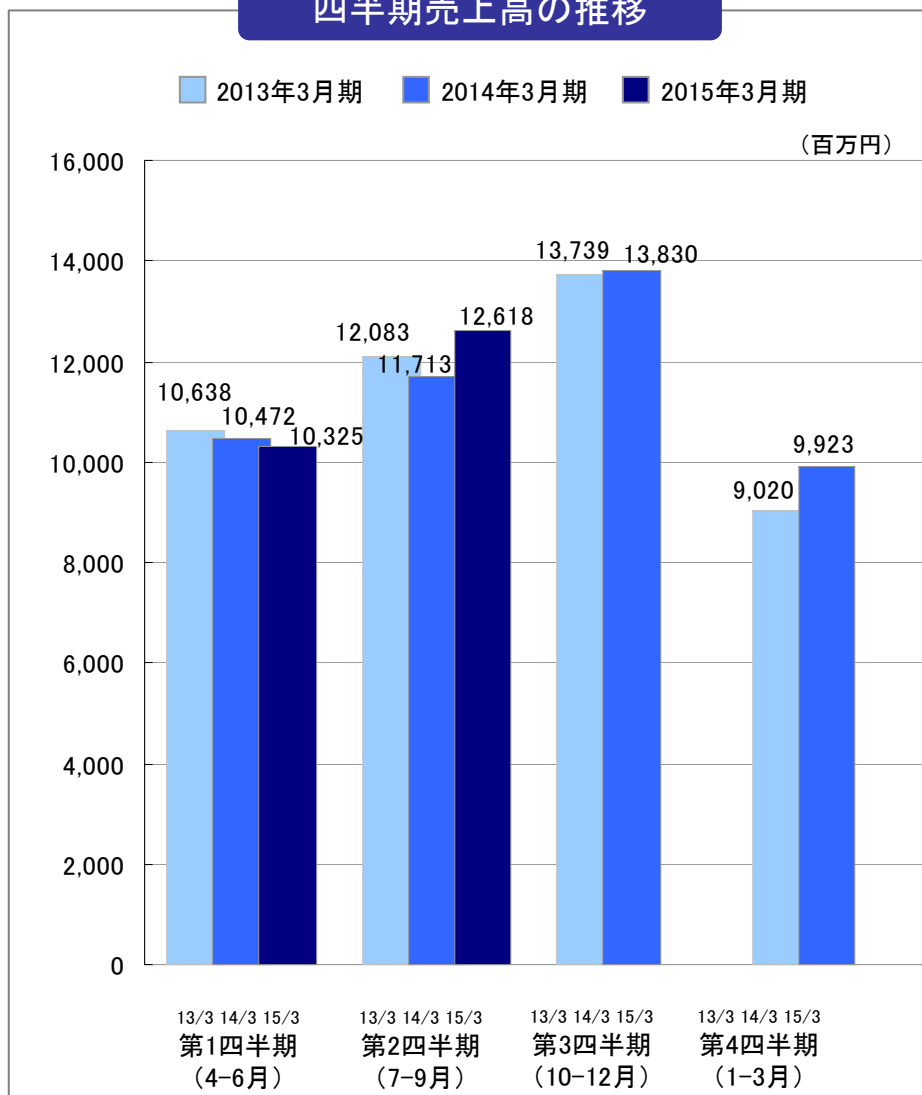
キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)

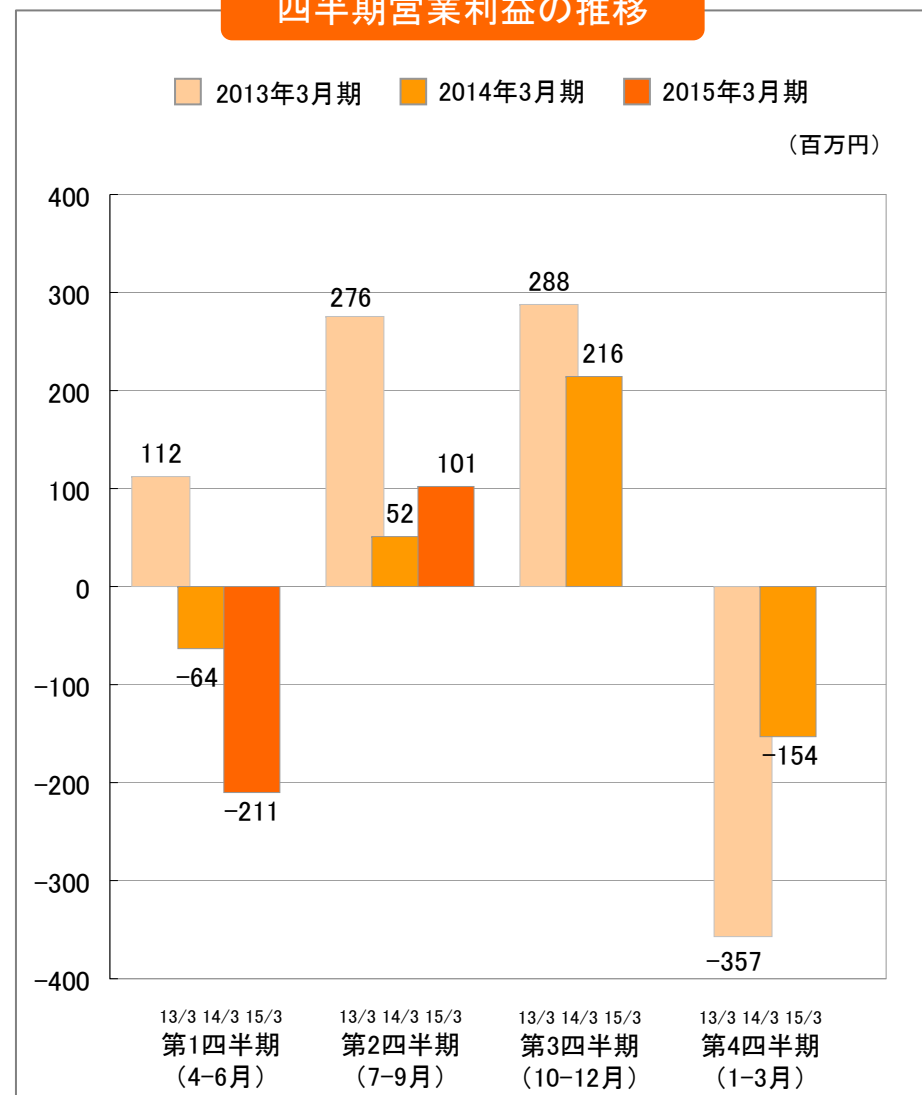
	2014年3月期 第2四半期累計	2015年3月期 第2四半期累計	
			前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲1,597	▲364	1,233
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲433	▲308	124
フリー・キャッシュ・フロー	▲2,030	▲672	1,357
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,344	726	▲617
現金及び現金同等物の増減額	▲686	53	740
現金及び現金同等物の期首残高	2,075	1,834	▲241
現金及び現金同等物の期末残高	1,389	1,887	498

業績の推移（売上高・営業利益）

四半期売上高の推移



四半期営業利益の推移

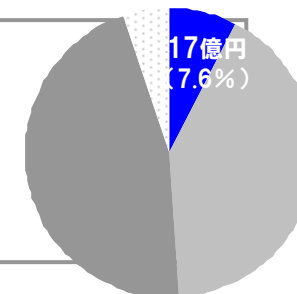


概況：魚肉ねり製品の販売数量減少により減収

水産食品事業

売上高 17億44百万円（前期比 2.8%減）

営業利益 ▲38百万円（前期より45百万円改善）



2015年3月期 第2四半期の状況

水産食品

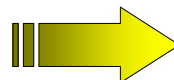
- ・ 魚肉ねり製品事業
 - 販売数量の減少により減収
 - 固定費の削減による改善

機能食品

- ・ エラスチンの靱帯改善機能を確認。商品・素材提案を推進
 - … 商品開発に注力
- ・ 高齢者向けソフト食「ソフミート」の売上拡大
 - … 前期比 116%
- ・ 和菓子の売上拡大
 - … 前期比 126%

水産食品事業

現在までの実行状況



今後の取り組み

■ 魚肉ねり製品の販売拡大

- ・主力OEMの受託数量減少
- ・新規輸出チャンネルの開拓（中国・台湾）
- ・業務用製品の開発
- ・ポルフ活動推進による最適生産性構築

- ・主力OEM先との取組強化
- ・海外での販路開拓
- ・新規マーケットの開拓
- ・営業組織強化
- ・ポルフ活動の推進

■ 機能食品の拡大

- ・要員強化によるエラスチン、ソフミート、和菓子の拡販
- ・エラスチンの靱帯改善エビデンスによる膝関節・ロコモ対応市場への提案
- ・ソフミートの調理実習会開催による市場拡大

- ・既存取引先への深化と委託給食会社との取組み強化
- ・ソフミート新シリーズ「ソフトタイプ」、「野菜」の上市と拡販
- ・機能性素材（エラスチン、ヒシエキスetc）：エビデンス取得、強化
- ・和菓子：高付加価値商品（嚥下用他）の開発、既存品リニューアル

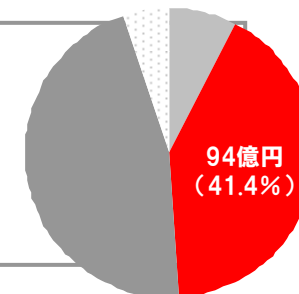
セグメントの状況（畜産食品事業）

概況：食肉加工品の拡販および価格改定、豚肉の拡販等により増収

畜産食品事業

売上高 **94億94百万円**（前期比 8.2%増）

営業利益 **▲56百万円**（前期より48百万円改善）



2015年3月期 第2四半期の状況

食肉加工品

- ・加工品の販売数量増および原材料価格の高騰に伴う価格改定により増収

食肉

- ・「霧島黒豚」を中心とした豚肉の拡販等により増収

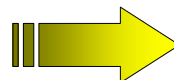
調理食品

- ・惣菜やギフト製品の販売が好調に推移したことにより増収



畜産食品事業

現在までの実行状況



今後の取り組み

■ スターゼングループとの連携強化

- ・業務提携契約締結
- ・工場製造受委託開始
- ・スターゼングループによる霧島黒豚販売開始
- ・人事交流開始

- ・販売拠点、販売チャネルの相互利用
- ・新規アイテムの共同開発
- ・工場製品生産数量増に向けた取り組み
- ・霧島黒豚取り扱い頭数の拡大
- ・人事交流による関係強化

■ OEM受託数量の拡大

- ・OEM先との連携強化
- ・都城工場における生ハムラインの整備及び食肉惣菜棟の改築

- ・下関第二工場量販品対応に向けての設備増強
- ・都城工場食肉惣菜増産に向けてのライン整備
- ・生産工程、歩留改善による原料価格高騰対策
- ・新規取引先の開拓

■ 霧島黒豚の販売強化

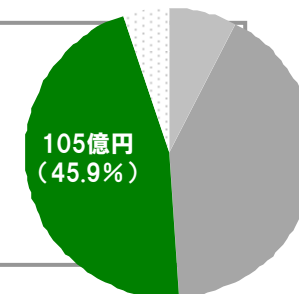
- ・広域量販店、全国コンビニ向け黒豚PB商品の展開
- ・外食銘店監修霧島黒豚ギフトの開発
- ・大手流通企業の黒豚ギフト取り扱いアイテム増加

- ・銘店ギフトを中心とした首都圏百貨店の新規開拓
- ・大手流通企業との連携強化し、PB商品・PBギフトの新規共同開発
- ・首都圏への霧島黒豚アンテナショップ出店によるブランド強化
- ・既存取引先への店内シェアアップと新規開拓
- ・有名通販業者への霧島黒豚歳暮ギフトカタログ掲載

概況：魚粉価格の高騰により減益

飼料事業

売上高	105億22百万円	（前期比 2.1%減）
営業利益	4億24百万円	（前期比 34.1%減）



2015年3月期 第2四半期の状況

養魚用飼料

- ・ 主原料である魚粉価格の高騰により減益

水産物

- ・ ブリ加工品の取り扱い量を減らしたことにより減収

畜産用飼料

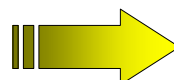
- ・ 養豚用飼料の販売低迷、ブロイラー用飼料の販売数量減少により減収

畜産物

- ・ 生鳥の取り扱いを減らしたことにより減収

飼料事業

現在までの実行状況



今後の取り組み

■養魚用飼料の販売数量拡大

- ・大手養殖生産企業への営業強化
- ・オンリーワン技術飼料の開発
新時代飼料（魚粉非依存型飼料）を開発・発売
マグロの稚魚から成魚までを配合飼料だけで養殖
できる技術を開発

- ・提案型営業と技術力によりシェア拡大
- ・オンリーワン技術飼料の拡販
- ・海外展開強化
輸出の増加
技術飼料の開発

■畜産物、水産物の収支改善

- （畜産物）
 - ・大手流通、大手食品企業への営業強化
 - ・飼育委託提携先の飼育成績向上の取り組み
- （水産物）
 - ・平安海産の生産性向上への取り組み
 - ・養殖委託提携先の飼育成績向上の取り組み

- ・営業強化による販売数量拡大
- ・飼料要求率および育成率の改善
- ・平安海産の加工度UPによる採算性向上
- ・給餌方法等、飼育管理指導の実施

(単位:百万円)

	2014年3月期 実績	当初計画 (変更なし)
売上高	45,939	47,000
営業利益	49	500
経常利益	▲19	400
当期純利益	▲35	300

2015年3月期 通期の見通し

第2四半期累計期間の業績については当初計画を下回ったものの、今後の売上拡大および価格改定の効果を見込んでいることから、当初計画に変更はありません。

 林兼産業株式会社

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

IRお問い合わせ先

林兼産業株式会社 管理本部総務部

TEL 083-266-0210

IRサイト <http://www.hayashikane.co.jp/ir/index.html>